

保護者様へ

研究協力に関するお知らせ

熊本県立大学環境共生学部食育推進室では、学生グループ「たべラボ」の活動の一環として、（研究参加同意者氏名）様から研究参加の同意を得て研究を実施いたします。

本研究への参加は任意です。以下の研究概要をお読みいただき、保護者様の立場からわからないことや何か心配なことがありましたら、本研究に関する連絡先までご連絡ください。

記

【研究概要】

研究課題：学部横断型食育活動におけるパターン・ランゲージが
学生の主体性に及ぼす影響に関する研究

1. 目的

「たべラボ」活動から抽出した内容で作成したパターン・ランゲージ※1「PUK もぐパターン」が、対話を促進し、新しい気づきや学びがもたらすことに効果があるかを確認し、今後の熊本県立大学における食育活動や研究（学会発表等を含む）に活用する。

※1 パターン・ランゲージとは、対象領域での実践の型（パターン）を捉え、言語（ランゲージ）化する知の記述方法である。たべラボ活動からコツを抽出して作成したパターン・ランゲージを「PUK もぐパターン」と名付けている。

2. 研究期間

令和8年6月17日～令和9年3月31日

3. 調査方法

本研究はネットで回答・回収が可能な Microsoft Forms を利用してアンケートを実施する。回答にかかる時間は10分程度の見込み。

その後、内容についてインタビューを実施する。

4. 個人情報の取扱い

入手した個人情報については、独立したハードディスクで管理し、パソコン本体での管理は行いません。データの入力を行う際はパソコンにインターネットの回線は接続しないで行い、個人名をID化して分析を行います。個人が特定できる形でデータを公表することはありません。データの保管期間は研究が終了する令和9年3月末から5年経過した時点、あるいは学会発表もしくは論文公表から5年を経過したいずれか遅い日まで保管期間とし、保管期間が過ぎたら速やかに外付け記憶装置からデータの消去とフォーマットを実施します。保管に伴う記憶装置は、研究室内で保管し一切の持ち出しを行いません。

5. 結果の公表

研究結果は、報告書、関連学会や論文として公表します。研究結果から個人を特定されることはありません。

6. 利益相反

本研究に関して、開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。

7. その他

本研究に関して学生の皆さんに費用の負担はありません。

8. 本研究代表者の問い合わせ先

熊本県立大学 環境共生学部 食育推進室
准教授 田尻 美千子
〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1-100
TEL 096-321-6726 FAX 096-321-6720
E-Mail tajiri-m@pu-kumamoto.ac.jp

以上